

令和5年度 第8回牧区地域協議会 次第

日時：令和5年12月19日（火）

午後6時から

会場：牧区総合事務所301会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) 令和5年度灯の回廊「まき深山のともしび」の実施について・・・資料No.1

(2) 上越市消防団牧方面隊 分団の再編について・・・・・・・・・・資料No.2

(3) 令和5年度第2回牧区町内会長連絡会議の開催結果について・・・資料No.3

(4) 牧湯の里深山荘の今冬の営業について・・・・・・・・・・資料No.4

4 協議事項

(1) 地域協議会活動報告会の開催について・・・・・・・・・・資料No.5

5 自主的審議事項

(1) あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について・・・資料No.6

6 その他（連絡事項）

・「牧区地域協議会だより（第59号）」12月25日号発行について

7 閉 会

・次回（第9回牧区地域協議会） 月 日（ ） 時 分～

令和5年度 灯の回廊 「まき深山のともしび」の概要について

- 1 実施期日 令和6年2月17日(土) 午後4時30分から点灯
- 2 実施主体 牧まちづくり実行委員会
- 3 組織図 P2参照
- 4 実行委員名簿 P3、4参照
- 5 実施内容 P5、6参照
- 6 作業内容 P7～9参照
- 7 当日の日程

(1) キャンドルロード・キャンダルパークについて

- ① 点灯作業：午後4時30分～

※午後5時30分頃までに、全てのキャンドルの点灯をお願いします。

- ② 点灯確認：キャンドルが消えていないか、適宜確認をお願いします。

- ③ 片付け：キャンドル・紙コップの片づけは、原則翌日の午前10時までに行い、都合により当日片付ける場合は、午後9時以降に行ってください。

(2) 茶屋について

- ① 開始：午後5時に営業開始できるように、調理等のスケジュール調整をお願いします。

- ② 終了：なるべく午後9時まで営業を行ってください。

(3) シャトルバスについて 17:00～20:30の時間帯で運行

- ① 運行：牧区総合事務所→コミプラ前→ふるさと村→牧区総合事務所
牧区総合事務所→ふるさと村→コミプラ前→牧区総合事務所

(4) 翌日の片付け作業について

- ① 作業：使用済みのキャンドル・紙コップは、翌日に総合事務所で回収しますので、18日(日)午前10時まで、各地区で指定した場所にまとめておいて下さい。

- ② 集積場所：牧地区(コミュニティプラザ)、沖見地区(ふるさと村)、白峰地区(深山荘)
川上地区(川上会館玄関前)、原地区(棚広集会所)

【当日のスケジュール】

時間	16:30	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	備考
各地区 キャンドルロード キャンダルパーク		点灯	点灯確認パトロール				ろうそく、紙コップは翌日10時までに片付け
各地区 茶屋・売店		営業				片付け	

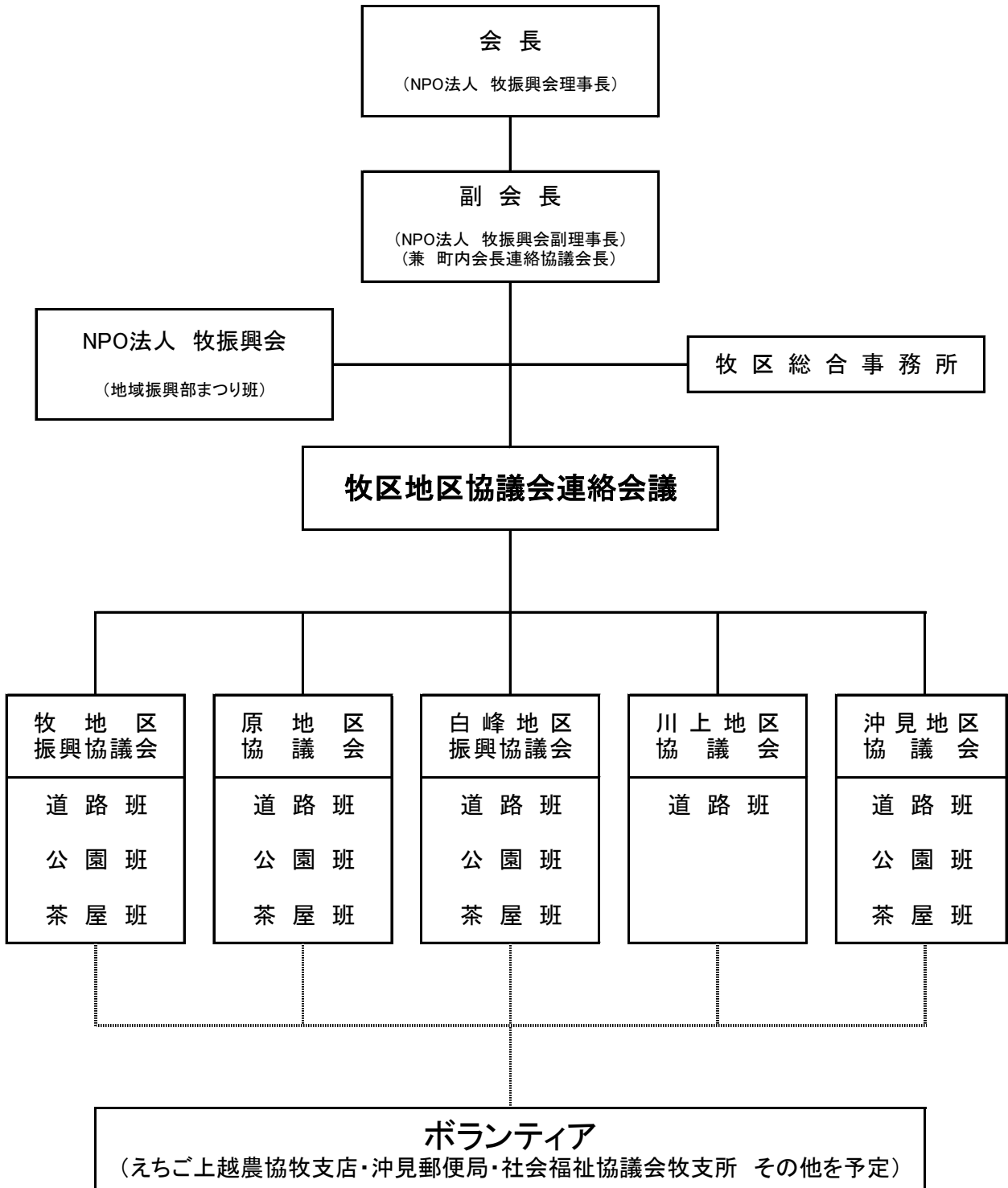
8 今後の予定

期日	内容	備考
1 12月7日(木) 午後6時30分～	第1回実行委員会	牧コミュニティプラザ 2階 集会室
2 12月～1月	各地区打合せ会議	実施内容の検討
3 12月初旬～	町内会へのポスター配布	
4 1月11日(木)	出店者(茶屋)会議	牧コミュニティプラザ
5 1月19日(金)	市募集ボランティア・各地区協力員名簿(保険加入)を提出	総合事務所
6 1月24日(水)	パンフレットの全戸配布	
7 2月初旬	キャンドル・紙コップの配布	牧コミュニティプラザ
8 2月17日(土)	灯の回廊「まき深山のともしび」	
9 2月18日(日)	片付け作業	午前10時まで

(案)

令和5年度 灯の回廊「まき深山のともしび」

牧まちづくり実行委員会 組織図



令和5年度 灯の回廊「まき深山のともしび」実施内容

☆ キャンドルロード				
地 区	距 離(km)	キャンドル数	作業員数	備考
沖見	0.3	200	10人	県道池舟地内
川上	3.0	1,600	50人	今清水入口～高谷集落
牧	11.9	6,000	300人	宮口～田島、柳島～小川・国川 荒井～東松ノ木
原	6.8	2,600	120人	県道柳島信濃坂線、県道上牧 棚広線、市道川西線
白峰	1.5	600	15人	県道柳島信濃坂線
ボランティア	1.4	650	15人	中条入口～今清水入口
合計	24.9	11,650	510人	

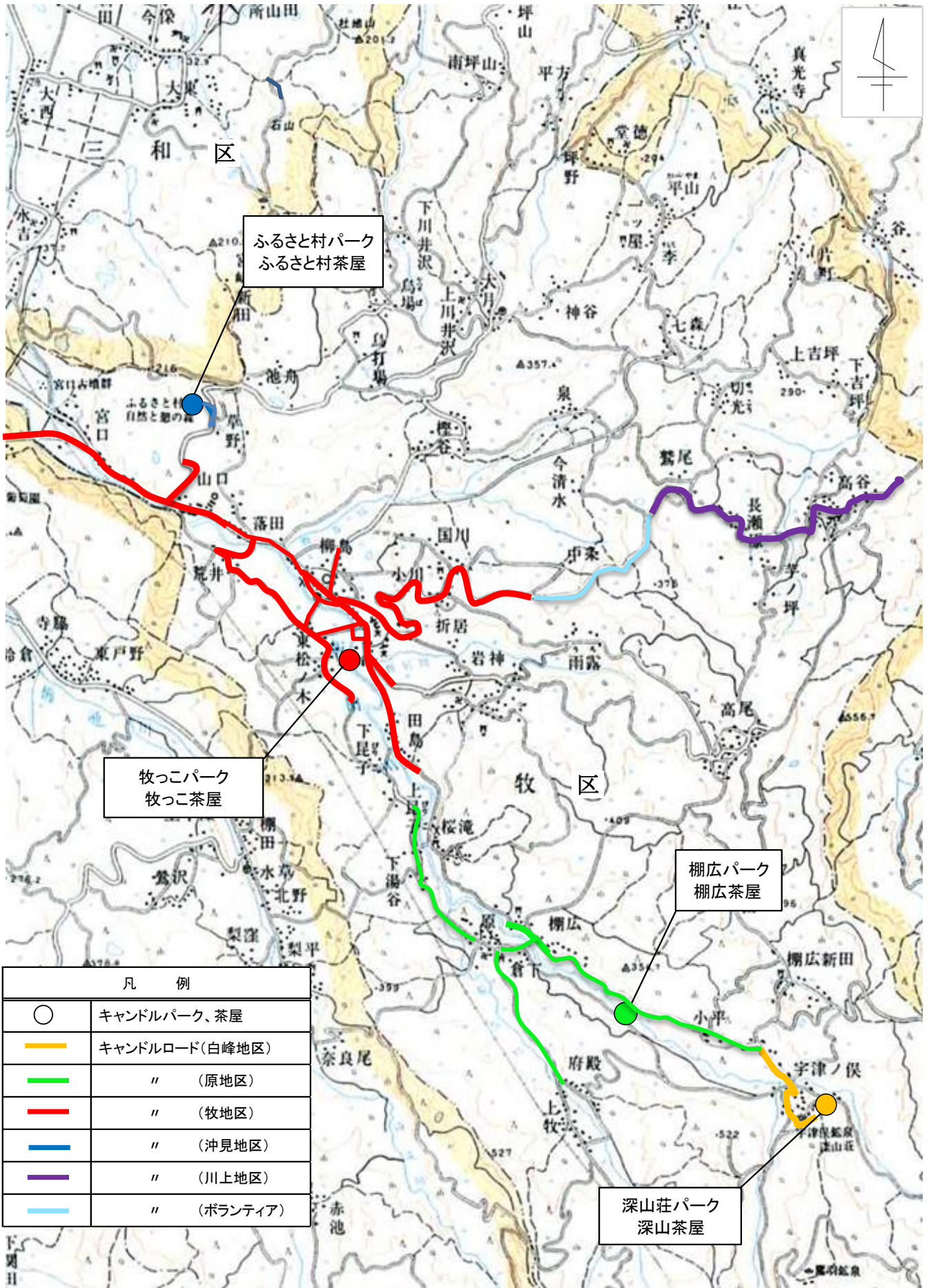
☆ キャンドルパーク						
地 区	設置場所	内容	キャンドル数		作業員	備考
沖見	ふるさと村自然と憩 の森	雪蛍、雪灯籠、雪像、ミニ花火 大会、木草庵ライトアップほか	1,000	1,000	40人	
	沖見の里	—	—			
川上	実施しない	—	—	—	—	
牧	牧っこパーク	雪蛍、竹ぼたる、雪上花火ほか	1,000	1,000	70人	
原	棚広パーク	雪蛍ほか	600	600	30人	
白峰	深山荘駐車場	大雪像	700	700	20人	
合 計			3,300		160人	

※キャンドル総数 14,950本

☆ 茶 屋					
地 区	名称	キャッチフレーズ	内容	作業員	駐車場
沖見	ふるさと村 茶屋	鴨だしを使った温まるそ ばと茅葺の家で、体も心も ポッカポッカに暖まって くんない	木草庵：鴨汁そば、天ぷらそば、 他通常メニュー 食房美咲：笹餅、のり巻き、だて巻司、 他販売 *テイクアウトのみ	15人	40台
川上	川上茶屋	出店しない	—	—	—
牧	牧っこ茶屋	あたたかい食べもので心 もあたたかく	たこ焼き、笹ずし(みずし)、おでん よもぎだんご	5人	30台
原	棚広茶屋		お汁もの、飲み物		
白峰	深山茶屋	暖かい料理と暖かい心で “おもてなし”	営業メニューでお待ちしてます	35人	20台
合 計				55人	90台

R5.12.11現在

令和5年度 灯の回廊「まき深山のともしび」実施箇所図



灯の回廊「まき深山のともしび」作業内容

★ キャンドルロード	
1	道路の壁に穴をあける位置をマーク
2	穴あけ
3	ろうソク、紙コップ設置
4	ろうソク点灯
5	点灯確認パトロール
6	ろうソク、紙コップの片付け
7	※絵文字等、地区のアイディアで
★ キャンドルパーク	
1	パークのレイアウトの作成
2	雪ホタルの設置位置をマーク
3	雪ホタルの作成
4	ろうソク、紙コップ設置
5	ろうソク点灯
6	点灯確認パトロール
7	ろうソク、紙コップの片付け
8	※滑り台や雪像等、地区のアイディアで
★ 茶 屋（出店）	
1	提供する内容を計画
2	茶屋臨時営業許可申請
3	駐車場の設置位置、誘導員配置を計画
4	駐車場等案内看板作製
5	茶屋名看板作製
6	食材の仕入れ調達
7	テントの設置（新型コロナウイルス感染症予防対策含む）
8	調理提供
9	テント等片付け

キャンドルロード (雪穴) の作り方

◆ 準備するもの

- ・ スコップ 下幅 25 cm、高さ 29.5 cm (全長 95~97 cm)
雪が固い場合はアルミ製よりも鉄製を推奨
- ・ チャッカマン 点灯時に使用、炎の調整が出来るもの
- ・ 防寒具 手袋は軍手若しくはゴム手

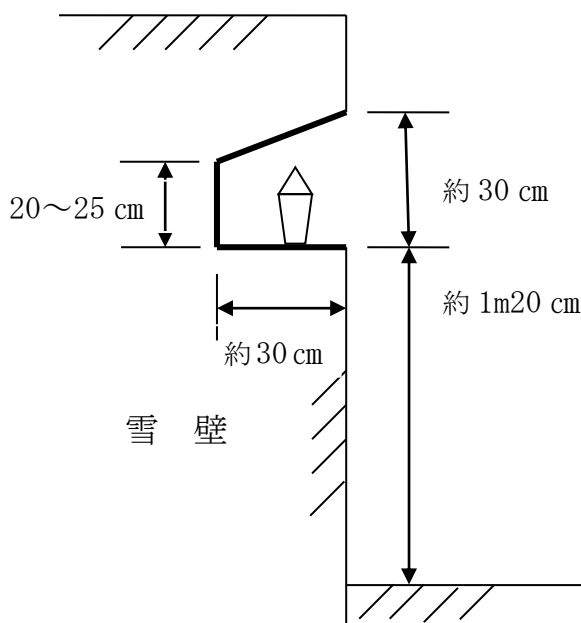
◆ 作り方

- ① 起点 (自分が担当する区間) を決めて、その場に 1 個制作する。
- ② スコップを使って、路面から 1.2m の位置に雪穴の下端が来るよう、おおむね 30 cm 四方の穴を掘ります。この時、水滴がローソクに落ちないように、天井は緩やかな傾斜を作ります。
- ③ 設置間隔は、道路の両側が雪壁の場合は 5m、片側の場合は 3m が標準。

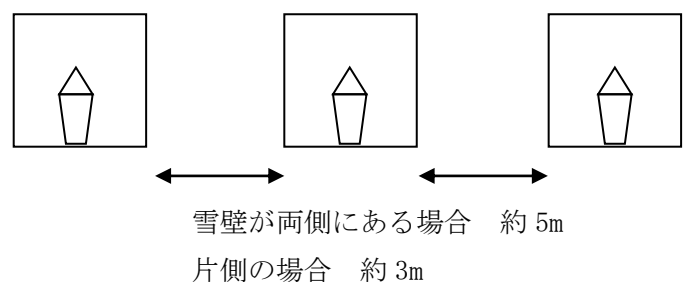
◆ 美しく見せるポイント

- ・ ともしび (ローソク) が等間隔かつ同じ高さにあると見栄えが良くなるので、スコップを利用したり、歩測等で等間隔になるよう工夫してください。(余裕があれば、あらかじめひもやロープを利用して 2 人で引っ張り、もう 1 人がスプレーでマーキングするとうまく仕上がります。)
- ・ 掘ったときの雪はそのままにせず、掻きちらしてください。

◆ 参考図面 (断面図)



(道路雪壁面)



キャンドルパーク(雪蛍)の作り方

◆ 準備するもの

- ・ ポリバケツ 15ℓ、肉厚を推奨
- ・ スコップ(アルミ)
- ・ 移植ゴテ
- ・ 一升ビン
- ・ チャッカマン 点灯時に使用、炎の調整が出来るもの
- ・ 防寒具 ゴム手必須

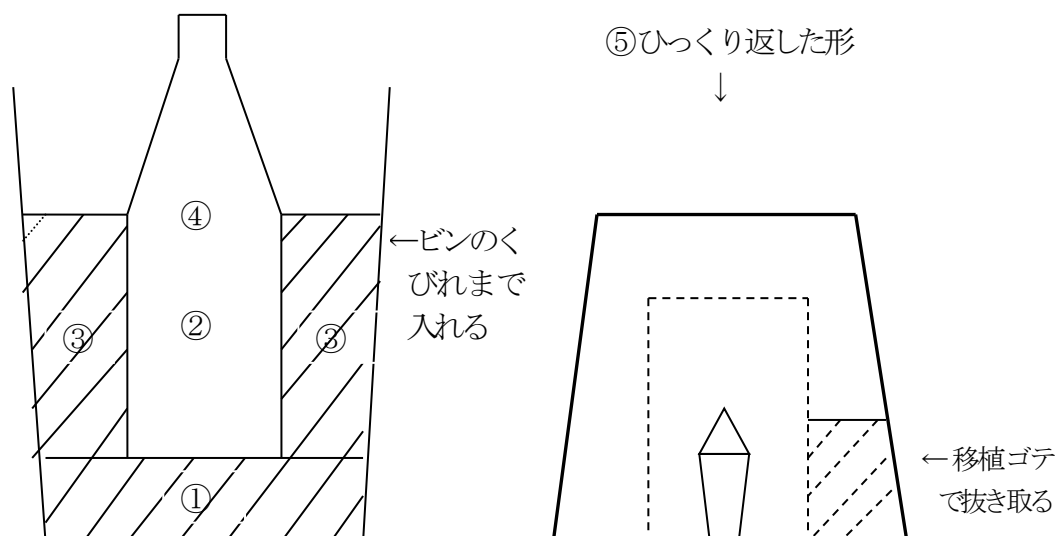
◆ 作り方

- ① 雪蛍を設置する場所で、ポリバケツの底にスコップを使って雪を8~10センチ程度入れ、入念に突き固める。
- ② 一升瓶をバケツの中央に入れる。
- ③ スコップ等で雪をビンの周りに入れ、よく突き固める。
- ④ バケツの中にある一升瓶をゆっくり引き抜く。
- ⑤ バケツのつるに注意し、定められた場所にゆっくりひっくり返し、移植ゴテを用いてローソクを入れる穴を作って完成。

◆ 美しく見せるポイント

- ・ あらかじめ、設置する個所や高さを決め、雪蛍が整然と並ぶと見栄えがしますので、担当者は事前準備をお願いします。(設計・位置出し)

◆ 参考図面(断面図)



上越市消防団牧方面隊 分団の再編について

〈再編の目的〉

将来的に団員確保が困難な状況が続くことを見据え、活動が困難となる消防部を統合し、牧区内を効率的に活動できる体制に再編することで、団員の負担軽減を図るとともに、地域消防力を維持する。

分団名	再編前		再編後（令和6年4月1日以降）		管轄町内会
	消防部名	使用器具置場・車両	消防部名	使用器具置場・車両	
牧南 (40人)	柳島消防部 (13人)	・柳島消防器具置場 ・消防ポンプ車(1台)	第一消防部	①柳島消防器具置場(消防ポンプ1台) ・高尾消防器具置場(消防積載車1台) ※高尾消防部の器具置場及び消防積載車は、再編後の活動状況をみて廃止時期を検討する。	柳島、東松ノ木、田島、 下昆子、岩神、高尾
	高尾消防部 (4人)	・高尾消防器具置場 ・消防積載車(1台)			
	桜滝消防部 (8人)	・桜滝消防器具置場 ・消防積載車(1台)	第二消防部	①桜滝消防器具置場(消防積載車1台) ・宇津俣消防器具置場(消防積載車1台) ・上牧消防器具置場(消防積載車1台) ※宇津俣及び上牧消防部の器具置場、また桜滝及び上牧消防部の消防積載車は、再編後の活動状況をみて廃止時期を検討する。	
	宇津俣消防部 (6人)	・宇津俣消防器具置場 ・消防積載車(1台)			
上牧消防部 (9人)	・上牧消防器具置場 ・消防積載車(1台)				
牧北 (46人)	落田消防部 (8人)	・落田消防器具置場 ・消防ポンプ車(1台)	第一消防部	・落田消防器具置場 ※消防ポンプ車は廃止 ①山口消防器具置場(消防積載車1台<小川消防部>) ・小川消防器具置場 ※消防積載車は廃止 ※落田及び小川消防部の器具置場は、再編後の活動状況をみて廃止時期を検討する。	宮口、池舟、山口、荒井、 東荒井、落田、小川、 雨露、国川、檜谷
	山口消防部 (13人)	・山口消防器具置場 ・消防積載車(1台)			
	小川消防部 (10人)	・小川消防器具置場 ・消防積載車(1台)			
	切光消防部 (10人)	・切光消防器具置場 ・消防積載車(1台)	第二消防部	①切光消防部器具置場(消防積載車1台) ・大月消防器具置場(消防積載車1台) ※大月消防部の器具置場及び消防積載車は、再編後の活動状況をみて廃止時期を検討する。	
	大月消防部 (5人)	・大月消防器具置場 ・消防積載車(1台)			

※人数は令和5年11月1日現在

※①: 拠点施設

令和5年度 第2回牧区町内会長連絡会議 次第

日 時：令和5年11月22日（水）14時～
会 場：牧コミュニティプラザ 2階 集会室

1. 開 会

2. 挨拶 牧区総合事務所長

3. 総合事務所からの連絡事項

(1) 板倉区建設グループ

①道路除雪の協力について

(2) 総務・地域振興グループ

- ①令和4年度「牧湯の里深山荘」における市及び指定管理者の収支状況等について・・・資料No.1
- ②川上笑学館の今後の管理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料No.2
- ③第2次上越市総合公共交通計画 後期計画の再編について・・・・・・・・・・資料No.3
- ④令和5年度 灯の回廊「まき深山のともしび」について・・・・・・・・・・資料No.4
- ⑤上越市消防団牧方面隊 分団の再編について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料No.5
- ⑥火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出書について 資料No.6

(3) 市民生活・福祉グループ

- ①避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成状況について（お願い）・・・資料No.7
- ②農業所得収支内訳書作成会の開催について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料No.8
- ③令和6年度 交通災害共済加入募集について（お願い）・・・・・・・・・・資料No.9

(4) 教育・文化グループ

①牧区小中学校における適正配置の取組について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料No.10

4. その他

(1) 牧振興会からのお知らせ

5. 閉 会

牧湯の里深山荘の今冬の営業について

1 営業内容

【変更前】

営業日	営業時間
月曜日、木曜日～日曜日、祝日	日帰り入浴 10:00～19:00
	レストラン 11:30～19:30

【変更後】 期間：令和5年12月28日（木）から令和6年2月29日（木）まで

営業日	営業時間
変更なし	日帰り入浴 10:00～17:00
	レストラン 11:30～14:00

※ 宴会及び宿泊については通常通り受け付けます。

2 理由

冬期間は降雪により利用者の減少が見込まれることから、燃料費、人件費等を抑えるため。

3 その他

- ・令和6年3月1日（金）以降は、通常営業とする予定です。
- ・社会情勢等により、期間を短縮又は延長する場合があります。

1 市からの諮問事項

(1) 諮問件数

	諮問数	答申	
		答申数	附帯意見等の数
令和3年度	1	1	1
令和4年度	1	1	0
令和5年度	1	1	0

(2) 諮問事項

諮問日	諮問事項	担当課
令和3年8月10日	上越市過疎地域持続的発展計画（案）について	自治・地域振興課
令和4年9月20日	新市建設計画の変更について	企画政策課
令和5年7月18日	上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について	地域政策課

2 地域活動支援事業

	提案件数	採択件数	補助金額（千円）
令和2年度	9	9	4,975
令和3年度	14	13	5,000
令和4年度	8	8	4,319

3 意見交換会の実施

	実施日	参加者	内容
令和3年度	7月16日	区内スポーツ団体保護者 (牧フレッシュガールズ)	牧区で生活するにあたり、 ・感じていること ・困っていること
	7月24日	区内スポーツ団体保護者 (牧クロスカントリースキークラブ)	
	7月29日	区内スポーツ団体保護者 (牧剣友会)	
	11月12日	NPO法人牧振興会	事業を実施するうえでの課題や悩み
	2月22日	原田 真理氏（くるみや）	・店舗を開業した動機 ・牧区の魅力 ・今後の夢や希望
	3月22日	難波 美穂氏（ポテトヘッド）	
令和4年度	3月4日	NPO法人牧振興会 牧区総合事務所	・各機関の現状について ・各機関に担ってもらいたいこと
	3月7日	牧小学校保護者	・学校適正配置について
令和5年度	5月23日	イタヤ 梨本 正昭氏	・イタヤカエデの事業概要など

4 自主的審議事項 (令和3年9月7日～)

<p>審議事項 (課題検討)</p>	<p>あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について</p>
<p>審議状況</p>	<p> ≪令和3年度≫ ○令和3年9月7日 自主的審議テーマが決定 「あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について」 ○令和3年11月12日 「NPO 法人牧振興会との意見交換会」 ・事業を実施するうえでの課題や悩み など ○令和4年2月22日 「原田 真理氏 (くるみや) との意見交換会」 ・開業した動機、牧区の魅力、今後の夢や希望 など ○令和4年3月22日 「難波 美穂氏 (ポテトヘッド) との意見交換会」 ・開業した動機、牧区の魅力、今後の夢や希望 など </p> <p> ≪令和4年度≫ ○令和4年5月17日 (第2回牧区地域協議会) ・地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について ○令和4年6月21日～令和4年10月18日 (第4回牧区地域協議会～第8回牧区地域協議会) ・各班に分かれてグループ討議を行う 「子ども・子育て」、「産業」、「その他」項目についての【現状・課題】、【強み・特性】、【政策】 など ○令和4年9月20日 第7回牧区地域協議会 ・牧区における「地域活性化の方向性」を作成 ○令和5年3月4日 「牧振興会、牧区地域協議会、牧区総合事務所での意見交換会」 ・各機関の現状、担ってもらいたいこと など </p> <p> ≪令和5年度≫ ○令和5年4月18日 (第1回牧区地域協議会) ・自主的審議において、課題抽出により三つの項目を選定 ○令和5年5月23日 (第2回牧区地域協議会) ・イタヤ 梨本正昭氏より、イタヤカエデの事業概要について説明を受ける ○課題とした三つの項目について協議、地域独自の予算への提案 </p>

5 「地域活性化の方向性」を作成（令和4年9月20日）

牧区における「地域活性化の方向性」	
<p>牧区の豊かな自然がもたらす多様な資源をいかして、 活力と魅力あふれる牧づくりを目指します。</p>	
<p>《牧区の地域活性化に向けて》</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ おいしい水の恵みのPR（米、農産物、どぶろく 他） ・ 豊富にある山の食材の活用（ウド、ぜんまい、ヨモギ 他） ・ 樹木を活用した特産品の企画（メープルシロップ 他） ・ 四季折々に合わせたイベントの開催（灯の回廊、山里コンサート 他） ・ 子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らすことの推進 ・ 大自然の中の宿泊施設、公共施設の利用促進 （花の植栽、深山荘、歴史民俗資料館 他） 	

※ 令和4年度地域自治推進プロジェクトによる地域活性化の方向性の策定

6 牧区地域協議会委員視察研修の実施状況

年 度	視察先 (施設名・団体名等)	参 加 委員数	目 的
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牧歴史民俗資料館(宮口古墳) ・ 地域活動支援事業実施箇所 (6箇所) ・ 牧区危険箇所 (5箇所) ・ 指定棚田地域 (泉地内) 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の地域活動支援事業に係る審査業務等の参考とするため、当該事業を活用して整備した施設を視察する。 ・ 委員の資質向上を図り見識を広げるため、牧区内の「公の施設（牧歴史民俗資料館）」及び「危険箇所」などを視察する。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古民家カフェ「澁い」 ・ お試し移住シェアハウス「竹所」 	8	<p>ドイツ人の建築デザイナー カール・ベンクス氏の古民家再生の取組を現地にて学び、考え方等を拝聴することで、牧区の課題である「空き家を活用した移住促進」について検討するための一助とする。</p>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅北広場キターレ 	6	<p>平成28年に発生した糸魚川市駅北大火の概要を学び、復興支援のあり方について知識を深めるとともに、駅北広場の役割や語り部の講話をとおして復興にとどまらない地域活性化の在り方を学ぶことで、今後地域協議会で議論する際の一助とする。</p>

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※研修会の写真あり

7 4区地域協議会委員合同研修会の実施状況

実施日	内容	参加 委員数	会場
令和3年12月	・テーマ：「中山間地域の振興について」 講師：(株)北信越地域資源研究所	7 (35)	中郷区
令和4年6月	・テーマ：「今後の市政運営について」 講師：上越市副市長	9 (40)	清里区
令和5年6月	・テーマ：「地域おこし協力隊について」 講師：各区の地域おこし協力隊員	7 (33)	板倉区

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※（ ）内の数値は、参加した各区地域協議会委員の合計

※研修会実施の写真あり

《意見交換会 写真》



《視察研修 写真》



【自主的審議における牧区の課題】

移住・定住

【目標】

- ・豊かな自然と暮らしの体験を通じて、牧区を広く知ってもらい、地域の人と触れ合う機会を創出し、空き家を活用した移住促進を図る。

- ① 利用できる空き家の情報収集 (総合事務所)
(町内会長を通じて聞き取り等)

・市で実施している空き家バンク等の情報収集、研究
(総合事務所対応)

- ② 空き家の情報発信 (牧振興会)
- ③ 体験メニューの検討 (総合事務所)
- ④ 体験受入体制の検討 (総合事務所・牧振興会)
- ⑤ 区内巡回体験ツアープログラム計画
区内施設の有効活用
(総合事務所・牧振興会・地域団体)
- ⑥ 体験ツアー参加者の宿泊先検討
(深山荘・川上笑学館・ほほえみ荘・どぶろく荘)
- ⑦ 地域イベントの情報発信 (牧振興会)

継続協議

・イベント実施できる団体の模索(総合事務所)
R5年8月～

農業・林業

【目標】

- ・牧区の農地を守るため、中心となる担い手を確保する。
- ・牧区の特産品及びメープルシロップの商品化を目指す。

<農業>

- ① 担い手(個人経営農家)による検討会の開催
(総合事務所・担い手(個人経営農家))
- ② 新たな組織体制づくりに向けた学習会及び講演会を実施
(総合事務所・公社・JA・担い手)
- ③ 区内の組織体制の検討
(総合事務所・公社・JA・担い手) 継続協議

・若手農業者で組織されているJA青年部等と牧区の農業振興について意見交換会を実施
(総合事務所) R5年12月3日(日)

<メープルシロップ>

- ① 事業内容について説明 (総合事務所・イタヤ) 済
・イタヤ(梨本氏)から事業内容について説明を聞く。(地域協議会) R5年5月23日(火)
- ② 商品化及び雇用の場としての検討 ★
(総合事務所・イタヤ)
- ③ イタヤカエデの植栽
(総合事務所・イタヤ)

<林業>

- ① 根曲がり杉活用事業
(総合事務所・イタヤ)

外出支援

【目標】

- ・高齢者等が地域で安心して暮らせるための外出支援を強化する。

- ① コミュニティバス活用の周知 (総合事務所) 済

・令和4年10月から実証運行実施、令和5年4月から本運行開始。引き続き乗車方法等の周知を強化する。(総合事務所)

- ② 買い物支援事業拡大の検討 (牧振興会)

継続協議

・牧振興会で、冬期間限定(1月～3月)毎週月・木に買い物支援事業を実施していることから、回数増の依頼を含め、牧振興会と協議を実施する。(総合事務所)

- ③ JA店舗の存続に向けて協議 (総合事務所) 済
(地場産販売スペース設置等)

・総合事務所がJA店舗関係者と状況把握を行う。(総合事務所)